



桜井小学校だより



第23号

令和5年1月26日

文責：校長 成清信彦

久しぶりの雪です

24日(火)夕刻から雪が降り始め、水曜日の朝は運動場もうっすらと雪景色でした。何しろ気温が低く、朝6時の時点では氷点下7度となっていました。運動場もカチンコチンの状態で、水が溜まっていたところは氷が張っていました。子どもたちは「スケート場」と言って大はしゃぎでした。

この辺りでは予報よりも大雪とならず、交通へのトラブルも最小限で済んだようで、大人たちは胸をなでおろしたところです。窓の軒にたまった雪を大切に手ですくって固めようとしている子もいました。

子どもたちは、雪合戦、雪だるまと楽しみにしていた分、ちょっぴりがっかりだったかもしれません。

まだこれからも雪が降る日があるかと思いますが、雪の降る日などは登下校等安全に気をつけてください。私たちも校舎施設の管理、安全管理など今後さらに注意してまいります。



学校給食週間です。

1月24日から全国学校給食週間です。学校給食は今から130年ほど前、山形県鶴岡町の忠愛小学校というところで始められたのがその元祖だといわれています。貧しさのために満足に食事をとることができない子どもたちを対象に給食を出されたそうです。長い年月を経て現在のようになりました。

学校給食の目標

1. 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図る。
2. 日常生活における食事について正しい理解と健全な食生活を営む判断力を培い、望ましい食習慣を養う。
3. 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養う。
4. 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであるという理解、生命及自然を尊重する精神環境の保全に寄与する態度を養う。
5. 食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることへの理解を深める。
6. 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深める。
7. 食料の生産、流通及び消費について、正しく理解する。

※文、写真 日本スポーツ振興センターより参照(一部抜粋)

今の給食はその献立のバラエティたるや、素晴らしいものです。子どもたちが普段食べられないような献立や、どちらかというと子どもたちに敬遠されがちな食材なども、調理法を工夫してあり、とってもおいしく作ってあります。また、冷たいものは冷たいままで、温かいものはできるだけ温かいままで提供されるため本当においしく食べることができます。この機会に改めて毎日の食への感謝を感じてもらえればありがたいと思います。

- ・栄養満点野菜たっぷり丼
- ・えのきときゅうりの梅肉和え
- ・貧血予防の卵スープ



最初の給食 明治22年
おにぎり、塩鮭、菜の漬物



昭和17年頃 すいとん汁



現在の給食
(中学生が考えた献立)